

教科	科目	学年	単位数
地歴	地理総合	1 年	2
使用教科書		副教材	
高等学校 新地理総合（帝国書院） 高等地図帳（二宮書店）		新詳地理資料COMPLETE（帝国書院） 高等学校 新地理総合ノート（帝国書院）	

1. 学習到達目標

- ①地図の性質や役割を理解し、現代世界の国際的なつながりへの理解を深める技術や知識を身につける。
- ②世界の地形や気候をヒントに、それらに影響を受ける様々な地域の人々の生活を理解する。
- ③歴史や文化をヒントに、地域のつながりや民族対立などの国際問題についての考察を通して、国際社会を見つめる視野を広げる。
- ④様々な地球的課題をSDGsをテーマに幅広く考察し、身近にできることにどんなことがあるかを考える。
- ⑤災害の多い日本、特に地震や津波が心配される静岡において、その災害の原因や被害の予想などについて理解し、災害発生時にどのように行動するべきかを考える。

2. 評価

- ①年4回の定期テスト。
- ②長期休暇中の課題、振り返りシートなど提出物の内容。
- ③朝テストの成績点。

※年間の評定は、1～3学期を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定する。

観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解し身につけたか。 ・現代世界に関する地理的認識や地理的な見方・考え方を理解し身につけたか。	・地図や統計、画像等の諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して、地理情報や地図の活用に関する技能を身につけたか。仮説を検証し、まとめ、発表することができたか。	・グループワークなどのアクティブラーニング内で生じる疑問に対し、身につけた知識や技能を駆使して考え、答えを導き出すことにこだわりを持つことができたか。 ・防災に関する理解をレポート学習を通して深めることができたか。

3. 学習内容（右ページ参照）

地図と現代世界の国際的繋がり	地図の種類、地形図の利用、GIS（地理情報システム）の活用、国家と領域、貿易・交通・通信
地形	プレートテクトニクス、大地形、小地形
気候と地誌	気候要素・因子、オセアニア地誌、東南アジア地誌
言語・宗教と地誌	世界の言語と宗教、中東・中央アジア・北アフリカ地誌、インド地誌
歴史的背景と地誌	ラテンアメリカ地誌、サハラ以南アフリカ地誌、ロシア地誌
産業と地誌	世界の農業、世界の工業、アメリカ地誌、東アジア地誌、ヨーロッパ地誌
地球的課題(SDGs)	環境問題、エネルギー・資源問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題
地域調査と防災	日本の自然環境、地震・津波・火山・気象各種災害と防災、地域調査の方法

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

①2年次以降地理探究でさらに深く地理を学習する際の土台作りを行う。

②グローバル化する現代社会を生きるための見識を深める。

③静岡県は災害の発生が強く予想される県であり、レポート学習などを活用して主体的に防災について学ぶ。

学期	月	単元・試験	授業内容（教科書）	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学 期	4	第1部 第1章 地図と地理情報システム	1節 地球上の位置と時差	・経度や緯度を基準として、地球の形や位置関係、時差の仕組みについて考える。
	5		2節 地図の役割と種類	・地図の種類やその使用目的の違いを理解する。また、地形図やWebGISなど、日常生活の中に活用されている技術についての理解を深める。
	6	第2章 結びつきを深める現代世界	1節 現代世界の国家と領域	・現代世界の国家がどのように成立しているか、領域はどのように決まっているかを理解する。
	7		2節 グローバル化する社会	・各種国際組織の役割や、観光などを通じた各国のつながりを理解する。 ・各国をつなぐ交通網や、それを利用した貿易がどのように行われているかについて考える。
		第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解	1節 世界の地形と人々の生活	・大地形の形成される仕組みとそれに影響を受ける人々の生活の様子について考える。また、小地形について地形図を利用して特徴を理解する。
			2節 世界の気候と人々の生活	・気候がどのように認識されてきたかをケッペンの気候区分をもとに理解する。
2 学 期	8	第3部 持続可能な地域づくりと私達	第1章 自然環境と防災	・日本の災害リスクと、静岡県の置かれた状況を理解し、防災面の備えなどについてレポートをまとめる。夏季休暇と冬期休暇を使って完成させる。
	9	第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解	第2章 生活圏の調査と地域の展望	
	10		2節 世界の気候と人々の生活	
	11		3節 世界の言語・宗教と人々の生活	
	12		4節 歴史的背景と人々の生活	
3 学 期	1	第2章 地球的課題と国際協力	1節 複雑に絡み合う地球的課題	・温暖化、砂漠化、森林破壊など地球規模の環境問題についての理解を深め、世界的にどのような対策をしてきたか、今後できるかを考察する。
	2		2節 地球環境問題	・世界の発電形態などから、エネルギー需要や枯渇の問題、新エネルギーについて理解を深める。
			3節 資源・エネルギー問題	人口が増えている世界、日本を始めとする人口が減っている先進国それぞれの人口に関する問題を理解する。
			4節 人口問題	
	3		5節 食料問題	・食料供給の地域的偏りや、その解決方法などを考察する。
			6節 都市・居住問題	・都市の発達と人口集中に伴う都市問題の現状を理解する。

